

富岡警察署協議会議事録

(令和7年度第2回定例会議)

開催日時	令和7年9月29日(月) 午後3時30分から午後4時50分までの間		
開催場所	富岡警察署 会議室		
出席者	委員 (定数8人)	中嶋会長 水澤委員 佐藤委員 鈴木委員 中出委員 松沢委員 高橋委員 中野委員	計 8 人
	警察	蛭川署長 松岡副署長 田村警務課長 櫻井会計課長 笠原生活安全課長 竹内地域課長 中澤交通課長 警備課長 刑事課課長代理 警務係長	計 10 人
	その他		
議 事 の 概 要			
1 挨拶概要			
(1) 会長挨拶			
富岡警察署員の皆様には、平素よりの管内治安維持に対する尽力に感謝申し上げます。 また、協議会委員の皆様にも御多忙の中、本会議への御出席に感謝申し上げます。 今回の定例会議では警察署長から諮問がある。これは、警察署協議会の最も重要な機能であるので、委員の皆様には忌憚のない御意見をいただきたい。			
(2) 署長挨拶			
中嶋会長を始め、委員の皆様には公私ともに御多忙のところ、定例会議に御出席いただき感謝申し上げます。 治安情勢は、県下で刑法犯認知件数が増加傾向にあり、管内も同様に盆栽や農作物の大量盗難などを認知しているが、世間の耳目を集めるような凶悪事件・重大事故の発生はなく、概ね平穏に推移している。 今回の定例会議では「警察官採用試験競争倍率低下に伴う人材確保方策」をテーマに諮問させていただくので、他業務に対する意見も含めて忌憚のない発言をお願いしたい。			
2 前回質疑等回答(説明者 交通課長)			
(1) 甘楽郡甘楽町大字白倉地内交差点の信号機設置について〔要望〕			
交差点に信号機設置するための要件、当該交差点における交通量等の環境などを鑑み、現時点では設置を検討する段階にない。〔回答〕			
(2) 富岡市七日市地内踏切表示などが視認しにくい状況について〔意見〕			
当該踏切は遮断機が設けられた踏切で、標識、道路標示共に適切に設置されている。 また、夜間には規定された表示に加えて、直近に設けられた民間の動物病院の看板に踏切注意の表示が併設され、看板の照明で照らし出されている。 踏切の存在を周知する表示は十分と言えるが、事故防止の観点から同所における指導取締りは今後も継続していく。〔回答〕			
3 治安概況説明(説明者 署長)			
(1) 刑法犯認知・検挙状況(県内・管内)			
(2) 手口別認知状況(県内・管内)			
(3) 市町村別認知状況(全刑法犯・窃盗犯)			
(4) 特殊詐欺等被害状況			

- (5) 交通事故発生状況（県内・管内）
- (6) 人身交通事故による死者数・傷者数（県内・管内）
- (7) 市町村別交通事故発生状況（交通事故全体・人身交通事故による傷者数）
- (8) 110番通報・警察安全相談件数（県内・管内）
- (9) 妙義山警備隊出動状況

4 諮問（説明者 警務課長）

(1) 諮問事項（〇～委員）

「警察官採用試験競争倍率低下に伴う人材確保方策」について委員に諮問したところ、次の意見等がなされた。

- 人口減少は平成の初めにはわかっていたことで、警察に限らず、行政はもっと早くに手を打つべきだった。将来を考えて、今受験する年齢ではなく、もっと若い層（小学生くらい）に1日体験などでアピールし、警察の仕事に対する興味を醸成する活動をする。〔意見〕
 - 警察のイメージとして「怖い」がある。これをなくすように、スポーツやそのほかの仕事以外の面で距離を縮める、いわば「趣味のお付き合い」のような関係性で話しやすい状況を作る。〔意見〕
 - 社会情勢が変化しており、薄給でありながら公私に厳しい公務員は魅力がない。説明にもあったが、外国人人口が増えるのは目に見えており、警察が対応する事案も増えるが、そんな中で警察官のイメージが失墜するような事件が大きく取り沙汰され、自分からその職業に就こうという気持ちはなかなかわかない。〔意見〕
 - 試験の方法に問題がある。翌年4月から働くのに、試験が9月から始まり、最終合格の発表が12月では、不合格だったときに別の仕事を見つける時間がないし、試験の期間中に別の職業で合格してしまえば、更に試験を受け続けるという意欲を持ち続けるのは難しい。むしろ、ほかの職業よりも早く合格を出して安心させてはどうか。〔意見〕
 - 合格者の中から辞退者が出るという統計が資料にある。せっかく受験して、全ての試験に臨んだ者なら就業意思はあるはずなので、これを逃がさない材料（好条件）が必要だと思う。〔意見〕
 - 自分たちが就職する時代には、一社終身就業が当たり前だったが、今は、新入社員が、この会社は自分に合わないと言って辞める時代になってしまった。
また、テレビなどでもそれを肯定する風潮になっており、職業に対する考え方が大きく変わっている。〔意見〕
 - 自分の会社では、住宅ローンを70歳まで払う若手が多くいる。公務員は倒産の心配がなく、自分の意思で長く働けるという魅力があり、免職となるような不祥事を起こさなければ定年（65歳）まで働けることは強みなので、そこをアピールしてはどうか。〔意見〕
 - 以前は、警察官を主人公にした勧善懲悪のドラマがたくさんあった。その警察官はとて強くて正義感があり、かっこよかった。しかし、今のドラマは辛さと理不尽に悩む場面や、仲良しで楽しい場面が多く、ヒーロー的憧れの対象とならず、職業として考えにくいと思う。〔意見〕
 - まず、良いイメージを発信する。警察官なので、ある程度の怖さ（強さ）は必要だが、それだけでなく親しみやすい面、優しい部分をアピールすると印象が変わると思う。実際に警察学校の見学をさせてもらったが、教官の存在などの学習環境や生活環境が世間的なイメージと良い方向に大きく異なっており驚いた。〔意見〕
- なお、各委員が発言した意見を取りまとめ、次回の第3回定例会議にて答申を行う予定。

(2) 委員意見に対する署長挨拶

様々な御意見、感謝申し上げます。本音では、我々も感じているところもあり、同意する内容もあったが、外部から見た警察の魅力として自分たちには気づかない御意見もいただけた。

5 備考

第3回定例会議は12月中とし、事務局から改めて日程調整する予定